

日本母乳哺育学会雑誌 投稿規程 (2022年9月1日改訂)

1. 日本母乳哺育学会雑誌(日母乳哺育会誌) Journal of Japanese Society for Breastfeeding Research (J Jpn Soc Breastfeed Res) への投稿は、依頼原稿を除き、筆頭著者のみでなく、共著者もすべて本学会会員に限ります。
2. 掲載された論文の著作権は学会に帰属します。したがって別紙1を参考に、原稿の著作権は学会に帰属することへの同意、ならびに他誌への重複投稿をしていないことに関して、著者全員が署名(自筆または押印)した誓約書を投稿時に同封してください。すでに刊行されている雑誌や著書から文書や図表等を、引用の範囲を超えて転載する場合には、著者自らが著作権を有する出版社あるいは学会、著者などから転載許可を文書で得たうえで投稿時に添付して下さい。投稿論文には文献の書き方に準じて出典を明記してください。適法な引用かどうか判断できない場合には、出版元にご確認ください。
3. 論文は母乳または母乳哺育・育児に関するもので、他の雑誌などに未発表のものに限ります。
4. 本誌の論文の種別は研究論文(research article)と資料(non-research article)を受け付けています。著者は投稿時に以下のカテゴリから論文種別を選択してください。最終的な論文種別の判断は編集委員会が決定します。
 - 1) 研究論文(research article)の種別は「総説」、「原著」、「文献研究」から選択することが可能です。
総説：特定の分野の専門家に対して編集委員会からの依頼によるもの(学会等の講演記録を含む)
原著：ヒトを対象とした臨床に基づいた研究および動物を用いた基礎研究など
文献研究：これまでの文献を批評して研究したものを示す
 - 2) 資料(non-research article)は臨床または教育的な実践、母乳育児促進活動に関する有用な情報が記載されている「症例報告」または「実践報告」を受け付けています。
症例報告：個別の症例に関する報告
実践報告：施設や特定の団体における取組、活動に関する報告
 - 3) それ以外に母乳育児に関する最新のトピックス、活動報告、関連学会への参加記録が記載された「話題提供」を受け付けています。編集委員会から専門家や母乳育児に関連する団体に対して執筆を依頼することがあります。なお「話題提供」の掲載可否は編集委員会で決定させていただきます。原著論文の扱いとはなりませんのでご注意ください。
5. 臨床実験や治験に関する論文は文書による同意を得て行ったことや、倫理委員会の承認を得た研究であることなどを明記してください。また、資料(「症例報告」および「実践報告」)においても個人が特定されないこと、同意を得ていることなど、研究倫理に配慮していることを論文中に記載してください。
6. 論文の採否は2人ないしは3人の査読を経たのち、編集委員会で決定します。場合により原稿の訂正を求めることがあります。訂正を求められた論文は編集委員会からのコメント送付後6ヵ月以内に訂正してお送り下さい。それを過ぎた場合は新規投稿扱いとなる場合があります。採択された原稿は原則として返却しません。

7. 正1部、副（オリジナルのコピー）2部の合計3部に電子媒体をつけて送付してください。
8. 電子媒体はe-mailでの添付ファイル、CD、フロッピーディスクなどいたします。原稿は、WINDOWSワード 2000以上のソフトで、図はパワーポイント 2000またはエクセル 2000以上で作成してください。写真はTIFFファイルで保存してください。
9. 初校は著者校正とし、再校以降は原則として編集委員会で行うものとします。
10. 英文論文を投稿する場合は、必ず英語を母語とする人に綴り・文法を確認してもらった後に投稿してください（英語を母語とする人により校閲されたことを示す書類を添付してください）。英語原稿の場合は、編集委員会では英文校正はいたしかねます。また、受理の段階で和文抄録（400字以内）をつけてください。詳細については英文論文の投稿規定を確認してください。

11. 投稿論文の書き方

論文の第1ページに、論文表題（英文付記）、論文種別、著者名・所属と職名（共著者を含む、英文付記）、郵便宛名および電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを明記し、原稿枚数、図表、写真の枚数を記載してください。

- 1) 論文の構成としては、下記のようにまとめてください。
研究論文：要旨—緒言—対象・方法—結果—考察—結論—文献—図の説明—図表
症例報告：要旨—緒言—症例—所見・経過—考察—結び—文献—図の説明—図表
- 2) 要旨は400字以内で、それだけで論文の内容がわかるように、第2ページにまとめてください。
- 3) キーワード（英語で5つ以内）を要旨の後につけてください。
- 4) 英文抄録（300ワード以内）をつけてください。ここには題名も英語で記載して下さい。著者名、所属は記入しないでください。必ず英語を母語とする人に綴り・文法を確認してもらった後に投稿してください。英語を母語とする人により校閲されたことを示す書類を添付してください。なお話題提供に英文抄録は必要ありません。
- 5) 用語の統一：粉ミルク、人工乳、調製粉乳などは人工乳で統一してください。母乳栄養に関しては、生後6ヵ月以内に果汁・水分などを投与せず、ビタミンK₂シロップと医師が疾病に対し投与した薬品を除き、母乳以外まったく摂取していない場合だけを完全母乳栄養(exclusive breastfeeding)としてください。
- 6) 原稿は、文章の場合、A4用紙1ページに25×40行で印刷し、全てのページにページ番号と行番号をつけてください。
図表はA4用紙1枚に1点を印刷し、投稿してください。図表は1点400字に換算し、原則7点以下としてください。図表はカラーでも構いませんが、必ずモノクロでの原稿も添付してください。（電子版での配布となりますが、モノクロの冊子体も少数作成するため、図表はモノクロ印刷を想定して作成してください）
本文は図表を合わせ、研究論文および資料は原則として12,000文字以内、話題提供は3,600字以内にして下さい。製本時には、1ページで約1,800文字程度になる予定です。
- 7) 度量衡はkm, cm, mm, L, mL, kg, mg, mEq/L, mg/100mLなどの単位を、数字は1, 2, 3などの算用数字を用い

てください。数字とアルファベットは全て半角文字を用いてください。

- 1 2. 所属施設で倫理審査ができない場合には学会で審査を行うことができます。ご希望の方は、事務局までご連絡をお願いします。
- 1 3. 投稿にあたり、利益相反の開示すべき項目の有無を申告してください。該当しない場合には「日本母乳哺育学会の定める利益相反に関する開示事項はありません」と論文の末尾に記入してください。本学会が規定する利益相反の開示すべき項目は以下の通りです。

- ①産学連携活動に係る受け入れ額が、1 企業あたり年間 200 万円以上(所属機関からの間接経費が差し引かれる前の金額)の場合
 - ②コンサルタント、指導、講演、給与としての個人収益が、1 企業あたり年間 100 万円以上(税金や源泉徴収額を引く前の金額)の場合
 - ③産学連携活動に係る個人収益(公開・未公開を問わず、当該企業の株式等の出資・取得・保有及び売却・譲渡、ストックオプションの権利譲受、もしくは、役員報酬、特許権使用料等)が 1 企業あたり年間 100 万円以上あった場合(但し、投資信託、もしくは、当該個人によって管理・制御できない多角的なファンドにおいて資金運用される場合を除く)
 - ④上記 1~3 のいずれかに該当する企業に一親等の親族が現在勤務している場合
- *個人収益の場合は、前年の 1 月 1 日から 12 月 31 日まで、ただし、寄付金や企業からの受託等、産学連携活動に係る研究の場合は、前年 4 月 1 日から本年 3 月 31 日までの期間でも可。

該当する場合には「日本母乳哺育学会の定める利益相反に関する開示事項に則り開示します。(企業名)から(〇〇円)」と論文の末尾に記入してください。

申告書の著者サイン欄に全員のサインを記入(自筆)して下さい。

本学会の定める利益相反に関する開示事項 1・2・3・4 について「該当する・該当しない」を○で囲み、該当する場合は企業名と金額を記入してください。

共著者が多い場合、申告書をコピーし使用して構いません。また、著者個人ごとに申告書を作成しても構いません。

文献の書き方

本文中には、登場順に算用数字で通し番号を付け(括弧付けの番号で、例: ¹⁾)、文献の欄では、通し番号を文献の前に記載し、本文中の番号と対応できるようにしてください。

著者は 3 名までは全員を、3 名以上の場合は 3 名までを書き、他や *et al.* を付けてください。また、単行本の場合は編者の名を記入してください。

引用文献は必ず以下の通りに記載してください。

雑誌 著者名、論文題名、雑誌略名、年；巻：ページ初—終

著書 著者名、表題、編者、書名、版数、発行社、発行地、発行年(西暦)；引用ページ初—終

Web 著者名(分かれば)．”web ページの題名”．web サイトの名称、入手先 URL、(参照日付)．

例：

雑誌の場合

1. 有田昌彦、疫学調査による乳幼児期のアトピー疾患発症と栄養法の関係、アレルギー、1997；

46 : 354-369

2. Sicherer SH. The impact of maternal diets during breastfeeding on the prevention of food allergy. *Curr Opin Allergy Clin Immunol* 2002;2:207-210

著書の場合

3. 奥山和男、 新生児の栄養、 小川雄之亮、多田裕、中村肇他編、 新生児学 メディカ出版、大阪、1995 ; 333-350

4. Miyasaka K. Mechanical Ventilation. In :Holbrook PR, ed. *Textbook of Pediatric Critical Care, 3rd Ed.*, WB Saunders, Philadelphia, 1993;442-464

web ページの場合

5. 山城雄一郎、石井廣重. “母乳育児の子には母乳育児専用の発育曲線を”. 日本母乳哺育学会ホームページ. http://square.umin.ac.jp/bonyuu/info/hatuikukyokusenkaitei2016_20170329.pdf、(参照 2018-4-30)

掲載料

組みあがり 4 ページまでに要する費用は学会が負担します。4 ページを超える部分の費用は著者の負担とします。5 ページ以降は 1 ページ約 5000 円の負担となります。

印刷された冊子での学会誌の販売に関して

学会誌は電子版 (PDF) でカラーであっても、印刷された冊子はすべてモノクロ印刷となります。発行部数には限りがありますので、在庫が無くなり次第販売は終了します。

別刷に関して

本学会雑誌はオンラインジャーナル化に伴い、原則として別刷は作成していません。別刷の印刷をご希望の場合には、事務局までお問合せください。尚、作成にかかる費用はすべて著者負担となります。尚、PDF データは提供しておりますが、著作権上、筆頭著者および共著者の使用のみに限らせていただきます。PDF データや印刷物の他者への提供、WEB への公開は禁止とさせていただきます。個人使用を越えて利用する際には事務局にご相談ください。

(事務局 Email bonyuhoiku-gakkai@umin.ac.jp)

原稿送り先 日本母乳哺育学会事務局
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
昭和大学医学部小児科学教室内
日本母乳哺育学会事務局

郵送にあたっては「簡易書留」扱い (レターパックも可) でお送りください。また、封筒には投稿原稿在中と表記してください。

電子媒体送付先

編集委員会宛に添付ファイルでお送りください。 jjsbr@med.showa-u.ac.jp

誓約書

年 月 日

下記投稿論文の内容あるいは主要部分を他誌に投稿していないことを誓約します。

また、本論文が採択されたときは、その著作権を日本母乳哺育学会に委譲することを承認いたします。今後、学会ホームページ上にて公開された場合にも、この電子媒体による著作権も学会に委譲することを承認します。

著者（共著者を含む全員）自筆

日本母乳哺育学会雑誌投稿用チェックリスト

日本母乳哺育学会雑誌の査読ガイドラインが定められました。投稿論文の種類によって下記のような基準で査読されます。投稿される方は、ご理解の上、投稿下さい。

平成 22 年 9 月 7 日

番号	査読内容	原著論文	文献研究	報告	話題提供
1	表題は内容を適切に表現している	○	○	○	○
2	研究動機・意義は明確である	○	○	○	
3	研究目的が明確である	○	○	○	
4	倫理的配慮が適切である（対象者の人権、インフォームドコンセント、個人情報保護など）	○		○	
5	研究方法は研究目的・目標達成のため妥当である	○	○	○	
6	データ収集方法について記載されている	○			
7	データ分析方法は適切である	○			
8	研究目的に沿った適切な分析が行われ、結果が示されている	○	○		
9	得られた結果にもとづいた解釈が示されている	○	○	○	
10	先行研究・文献と照合して検討されている	○	○	○	
11	結果と考察の内容を踏まえた簡潔な結論が示されている	○	○	○	
12	要約（和文・英文）は適切である	○	○	○	*○
13	学術的に価値があり母乳哺育・育児に貢献できる	○	○	○	○

* 「話題提供」には、和文要約のみ必要です。